

28年 1月29日

プロジェクト報告書

団体名 聖ヨゼフホーム

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

大自然と人との出会い ～挑戦しよう 奄美大島体験の旅～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

施設から巣立つ、いわゆる『自立』について、色々な課題が出ています。対人関係や根気のなさ・社会性のなさが、その原因とも分析しています。そのような中で、施設養護では、日常生活を中心に心の安定を図ってきました。併行して、グループダイナミクスを活かしながら、体験活動を意図的に取り入れ、「挑戦する心、感動する体験の共有、達成感と協調性を養う」ことが『自立』への第一歩と実践から学び、当施設でも取り入れる必要があると考えております。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

【参加者】

・児童(中高生児童 約10名程度) ・引率職員2～3名

【活動内容】

- ・プログラムの計画としおりの作成
- ・公共機関のチケットの取り方や利用体験
- ・野外プログラムの企画と実施(テント泊・自炊・海洋プログラム体験、島内一周サイクリング等)
- ・障害児施設へのお手伝いと交流(洗濯や掃除、夏祭り行事等)
- ・島内フォストファミリーとの交流(家庭体験等)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

計画や事前学習を子どもと共に行った。前年度の写真(スライド)や感想文を皆で共有した。その結果、子どもからのプログラムの発案があった。(サイクリングコースなど)
現地までの交通機関をあえて複雑にし社会体験を積ませる機会を多くした。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

目標の達成度としては7割と考える。

公共機関の利用により他のお客様から注意されたり、渋滞などでの遅れもあり、予定変更へ協力して対応するなど少しずつ成長した。ホームステイ体験は、彼らの成長をもっとも感じられた場面であった。人の優しさへの触れ合いは彼らの情緒を豊かにしたものであった。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



奄美大島体験